

**平成26年度第2回（第37回）幸町地区学校適正配置地元代表協議会  
「第二中学区分科会」議事要旨**

1 日 時 平成26年6月5日（木）午後7時～9時

2 場 所 ガーデントウン管理センター

3 出席者

- (1) 委 員 9名 \*欠席4名：鶴岡委員、佐藤委員、上原委員（代理出席：松井氏）、大嶋委員（代理出席：松岡氏）
- (2) 陪席者 1名 \*中央区代表：和田氏（千葉みなとパークハウスマンション自治会代表）
- (3) 事務局 4名 \*企画課：大崎課長、伊原統括管理主事、安井主査補、塚田主任主事
- (4) 傍聴者 2名

4 報告・議題

- (1) 平成26年度協議会委員（案）について
- (2) 【報 告】 前回協議会の協議概要とそれ以降の取り組み
- (3) 【議題1】 中学校の適正配置の必要性について
- (4) 【議題2】 次回開催日時・場所について

5 会議資料

- (1) 平成26年度幸町地区地元代表協議会委員名簿（案）
- (2) 次第・席次表
- (3) 資料1 前回協議会の協議概要とそれ以降の取り組み
- (4) 資料2 幸町地区・千葉港地区の状況について
- (5) 資料3 広域的な学区調整等を含めた学校適正配置について[幸町地区]
- (6) 参考資料 中学校の統合について
- (7) 別紙 議長提案

6 会議の概要

(1) 平成26年度協議会委員（案）について

前回協議会で、「中央区代表の委員を増やしほしい」という要望を受けて、会長・副会長から、「平成26年度の協議会委員の構成については、25年度と同様とする。ただし、中央区（千葉港7～8番）の各マンションの自治会代表は、議決権はないが、陪席し意見を述べることができる。」ことが提案され、第二中学区分科会として了承された。

「平成26年度幸町地区地元代表協議会委員名簿（案）」については、後日、推薦された方々全員に送付し、会長・副会長提案も含めて確認していただき、特に意見等がなければ、正式に協議会として承認することとした。

※後日、推薦された方々全員に委員名簿（案）を送付し、確認していただいた結果、特にご意見等がありませんでしたので、協議会として承認されたこととします。

(2) 【報告】 前回協議会の協議概要とそれ以降の取り組み

事務局が、資料1に基づき、前回協議会とそれ以降の取り組みについて説明した。

(3) 【議題1】 中学校の適正配置について

事務局が、資料2・3、参考資料を中心に簡単に説明した後に、協議を行った。協議では、議長提案が示され、次のことが確認された。

- ・各団体で、議長提案を含めて意見を取りまとめ、次回協議会（分科会）で協議を行う。
- ・議長提案は、第二中が跡施設となった場合には、第三小に転用することを条件としていくことから、第二中学区分科会で議長提案が合意された段階で、教育委員会に要望書等を提出し、実現可能性について回答を求めることとする。
- ・次回協議会（分科会）までに、関係校の施設見学会を実施する。

#### （４）【議題２】 次回開催日時・場所について

次回の協議会については、引き続き「第二中学区分科会」とし、7月31日（木）19時から、場所は、ガーデンタウン管理センターで開催することとした。

## 7 発言要旨

### （１）会長挨拶 <長岡会長>

本日は、あいにくの雨であるが、「雨降って地固まる」という言葉もあるので、この「第二中学区分科会」において、皆さんで意見を出し合い、適正配置についてより良い方向に進めていければと思う。

### （２）報告「前回協議会の協議概要とそれ以降の取り組み」

<事務局>

前回協議会の協議概要とそれ以降の取り組みについて説明する。

#### ○第36回協議会（全体会）

中学校の統合については、広域的な学区調整等を含めた学校適正配置の検討結果について説明し、その後に協議を行った結果、次のことが確認された。

- ・「現行の通学区を原則とする」ことについて、協議会として苦渋の決断ではあるが了承する。
  - ・中学校の適正配置は必要であり、今後の協議の進め方については、当面、第二中学区分科会で協議し、その後に全体会を開催する。
- 小学校の統合新設校における改修については、事務局が改修工事のスケジュールについて説明した後、協議を行った結果、次の点が確認された。
- ・小学校の統合新設校における「フェンス設置」については、「幸町2丁目分科会」で確認したとおり、設置をすることとする。
  - ・工事については、平成27年4月の統合に向けて計画どおりに進めていくこととする。
  - ・敷地周辺に植えられているキョウチクトウについては、すべて除去することを要望する。
- その他の協議として、上原委員より「中央区代表の委員を増やしてほしい」という要望が出されたが、会長・副会長で検討した結果、本日協議会の冒頭において案が示され、「第二中学区分科会」として了承された。

#### ○小学校統合新設校の校名募集

- ・対象校 幸町第一小学校と幸町第二小学校の統合新設校
- ・募集期間 平成26年5月12日（月）～30日（金）
- ・周知方法 保護者（関係小・中学校を通じて配布）、地域住民（自治会を通じて回覧等で周知）  
※市政だより（5月1日号：美浜区版）に掲載

現在、提出された校名アンケートについて集計をしているところである。今後の予定としては、アンケート調査を参考にしながら、教育委員会内の校名検討委員会で選定し、12月の市議会に諮る予定である。

<亀田議長>

事務局からの報告について、何か質問はあるか。

<一同>

特になし

### (3) 議題1「中学校の適正配置について」

< 亀田議長 >

本日の資料について、事務局から説明をお願いします。

< 事務局 >

資料2・3、参考資料について、確認する。

- ・資料2・3については、前回協議会の資料と同様である。なお、資料3については、25年度の推計値のままであり、26年度の推計については、現在算出しているところである。
- ・参考資料等については、以前に配布した資料であり、協議の参考としていただきたい。

< 亀田議長 >

それでは、中学校の適正配置について、協議を行う。前回協議会では、中学校の適正配置の必要性については確認されている。ただし、統合場所については、第一中学区では第一中で意見が一致しているが、第二中学区では第一中・第二中と意見が分かれているため、本日の「第二中学区分科会」で十分協議し、意見を集約していきたい。統合場所を踏まえて、ご意見をお願いします。

< 澤本委員 >

第二中の学校評議員としては、今年度は、まだ学校評議員会を開催していないが、昨年度までは、統合場所について第一中を希望する意見でまとまっている。

< 蟹江委員 >

第三小の学校評議員としては、前回申し上げているとおりである。今年度については、まだ学校評議員会を開催していないので、改めて意見を吸い上げていきたい。

< 巖倉委員 >

同様に第二小の学校評議員会は、今年度は、まだ開催していないが、第一中を希望することと一致している。

< 保坂委員 >

第二中のPTAとしては、過去にアンケートはとっているが、年度が替わり保護者も入れ替わっているので、再度アンケートを取らないといけないと考えている。

< 松岡氏 >

第三小PTAとしては、現行学区である第二中に行きたいという意見も多いと見受けられる。正式には、保護者アンケートを取らないとまとめられないと考える。

< 亀田議長 >

ここで、本日、欠席の佐藤委員から手紙を預かっているので、紹介する。

中学校適正配置への要望事項

意見1：早期実施を要望する。

- ・再配置（予定）の時期に受験を控えた子どもたちもおおり、方向性がいつまでも決まらないことにより生徒たちの不安をあおってしまい、学業に影響する懸念がある。
- ・本件の方向性を早期に定め、より良い街づくりのための具体的な協議を早く開始させ、住人たちが良い環境（街）を早く享受できるようにしたい。

意見2：新宿中学校の問題は、中央区として別個で協議していただけるように要望する。

- ・距離の問題だけで反対意見が出されているが、本来は中央区の学校問題が根底にあり、それは中央区内で協議を行い解決を図るべき内容ではないかと考える。

< 松井氏 >

まだ、ウェリスガーデン千葉みなと公園自治会の総意としての意見集約はできていない。

< 和田氏 >

同様に、千葉みなとパークハウス自治会としての意見集約はできていない。今後、アンケー

トを実施する予定である。

<亀田議長>

各団体での意見がまとまっていない中で、協議を続けることが難しい状況であり、議長自ら提案することに抵抗もあるが、私なりにいろいろ考えた結果として、提案したい。

※別紙 議長提案のとおり

[結論]

統合校を第一中とし、空いた第二中に第三小を移し、現第三小の校舎の空き教室等を子どもたちの居場所にしてほしいと要望する。ただし、次の2点を条件とする。

①中央区の生徒が新宿中に行けるようになったら、すぐに学区の変更をお願いする。

②第二中を第三小にすることができない場合、提案は白紙に戻す。

第三小、第二中、第一中等の見学をしていただいて、児童・生徒のためにどうするのが一番良いか、ご検討いただきたい。

また、第一中を統合校とするのであれば、空き教室等も多いため、改修工事についても生徒が居ながらでの工事が可能となり、改修工事に伴い一時的に生徒が移転する必要がないと考える。

<松岡氏>

工事期間の仮移転による影響よりも、将来に渡り継続される子どもたちの通学負担について懸念している。生徒数を考えると、第二中の方が第一中に比べてかなり多い状況である。その多くの生徒が、毎日同じような時間帯に、第一中まで通学するのは大変なことではないか。また、多くの生徒が移動することにより、様々な危険性も出てくるのではないか。

<亀田議長>

通学距離については過去に検証したが、統合場所をどちらにしても最も遠くなる生徒の通学距離は同じ位であるので、その点は公平に考えるべきである。

<蟹江委員>

今回の議長提案は、これまでのさまざまな検証・議論を踏まえての提案だと思う。そして、議論するに値すると考えるので、学校評議員会にも報告して提案を検討してみたい。

<事務局>

ここで、第一中と第二中の教室数を確認しておきたい。本日の参考資料にも掲載しているが現在、普通教室として使用できる実教室数は、第一中・第二中とも15である。例えば、仮に教室改善された教室を普通教室にもどした場合、第一中は21、第二中は19となる予定であり、統合した場合19学級が必要であることから、どちらも余裕がない状況である。

<亀田議長>

現実的には、第二中は普通教室に転用できる教室はほとんどないと思っている。

<巖倉委員>

第三小や第二中の方々は、第一中の学校施設をほとんど見たことがないのではないか。実際に、通学経路等も含めて、第一中や第二中の学校施設を見た方が良い。

<安藤委員>

会議に遅れて申し訳ない。第二小PTAとしては、中間地点ということもあり、統合場所に関する意見は特に出していない。むしろ、どちらでもよいので早期に進めてもらいたいというのが意見である。

<和田氏>

中央区から第二中に通う生徒は全体の3割程度いるので、中央区の意見をぜひ汲んでもらいたい。

< 亀田議長 >

もちろん聞いて進めていく。第三小の現状を考えた場合、広い第二中に移した方がよいと考える。そのためには、統合場所を第一中とすべきである。

< 松岡氏 >

第三小の校舎の構造や夏冬の環境にはマイナス面を感じるが、子どもたちはそういった校舎の特徴も楽しんでいる面もある。確かに、第三小の教育環境の充実を考えると、第二中に移転するというのは良い案だと思うが、現在第二中に通う、そしてこれから通うことになる子どもたちのことを考えると、第三小の環境改善だけにスポットを当てるのはいかなものか、疑問がある。

< 松井氏 >

自治会では、総会等で議決までは行っていないが、今までにアンケートは実施しており、その中では、統合場所については第二中の希望が大半となっている。理由としては、生徒数と通学距離の点が挙げられている。

第一中学区では、統合場所の希望が第一中でまとまっているのに、第二中学区では、意見が分かれるのが不思議である。単純に近くに行きたいといったところで、分科会としてまとまることはできないのか。

< 亀田議長 >

中央区の住民が、様々な経緯から止むを得なかったとはいえ、結果的に美浜区にある第三小・第二中に通学している現状は大変同情するところである。しかし、当分科会において統合場所の希望を第二中とした場合、協議会全体で第一中と第二中で意見が分かれてしまい、まとまらなくなってしまう。

< 松井氏 >

事務局にお聞きしたいのだが、旧真砂第二小学校を高等特別支援学校として使っているなどの例もあるが、第二小を統合中学校に転用できない主な理由は何か教えてほしい。

< 事務局 >

最大の要因は、敷地面積が市内の一般的な中学校と比較して、大変狭いことである。

< 蟹江委員 >

議長提案は、第三小を第二中に移転することが前提となっている条件付き提案となると思うが、教育委員会是对応できるのか。

< 事務局 >

適正配置による学校跡施設に関しては、資産経営課において中・長期的な視点から、人口・世代構成や周辺施設の状況、地元住民の要望などを総合的に勘案して、跡施設利用を検討することとなっている。したがって、現時点で第二中が跡施設になった場合に、第三小へ転用するといったことを担保することはできない。

しかしながら、第三小の現状や中央区に飛び地の学区が存在する現状も認識しており、それらの問題も幸町地区の適正配置に合わせながら、多角的に検討することになると考えている。

< 蟹江委員 >

第三小については、児童が溢れており、学校教育施設というのは、ある程度ゆとりがある方が望ましいと考えている。

< 亀田議長 >

ぜひとも、本提案を持ち帰っていただき、各団体に検討してもらいたい。

< 長岡委員 >

中央港から登戸小に通う飛び地学区については、子どもたちの負担が大きく、容認できる状況にない。いずれは近隣地域の状況も踏まえて、考えていくべきである。

<和田氏>

中央区に位置する当自治会で、単純に「第一中と第二中のどちらが良いか」といった形でアンケートを取った場合、当然第二中となると思う。しかし、議長提案のような第三小の教育改善につながるといった論点を示すことによって、各住民の考えが深くなるかも知れない。

<蟹江委員>

適正配置は長期的な視点に立って考えるべきである。いずれにしても現状のままでは並行線であるので、議長提案をきっかけに議論を動かす契機にすべきである。

<亀田議長>

中央区の自治会においても、総合的に検討してもらいたい。その上で、どうしても第二中となるのであれば、再度考え直せばよい。また、個々の事情により、第二中に固執する方がいる場合は、事情に合わせて検討していけないのではないか。

<松井氏>

第一中への統合の目的は、地域全体の学区整理のためとするのか。

<亀田議長>

そのとおりだが、第三小の教育環境の向上が主な目的である。

<松岡氏>

確かに第三小の充実は魅力であり、議論のきっかけにはなり得ると思う。しかし、第三小の保護者全体の理解を得るのは、ハードルが高いと考える。

<木幡副会長>

今後の地域住民間のコミュニケーションに悪影響を与えないためにも、議長提案の検討の進め方について提案をしたい。議長提案については、第二中が跡施設となった場合には、第三小に転用することを条件としていることから、第二中学区分科会として議長提案が合意された段階で、教育委員会に要望書等を提出し、実現可能性について回答を求めることとしてはどうか。

<一同>

異議なし（了承）

<亀田議長>

それでは、本日の議論をまとめる。本提案を各団体で検討し、各団体の総意を次回分科会に持ち寄り、分科会として合意された場合には、本提案の実現可能性について教育委員会に要望し回答を求めることとする。

<一同>

異議なし（了承）

#### （４）議題２「次回開催日時・場所」

<亀田議長>

次回も、「第二中学区分科会」とし、7月31日（木）午後7時から9時まで、場所はガーデンタウン管理センターとして進めることを基本とし、事務局にて調整を図ることによろしいか。

なお、分科会の前に施設見学会を開催したいので、こちらも事務局に調整をお願いしたい。

<事務局>

次回分科会については、7月31日（木）として進めるが、都合が悪い場合は、後日連絡させていただきます。

施設見学会については、7月上旬に開催できるように、各学校と調整を図りたい。なお、開催日は、多くの方々が参加できるように、土曜日か日曜日で進めていきたい。

<一同>

異議なし。（了承）

## (5) 諸連絡

### <事務局>

- ・本日の議事要旨については、後日、委員の方々に修正依頼をお願いする。訂正等あった場合は、期限までに返送をお願いしたい。
- ・委員名簿（案）については、後日、推薦された方々全員に送付し、確認していただく。
- ・次回の協議会に欠席する場合は、事務局に電話してほしい。代理を立てることも可能である。
- ・本日の協議結果については、各団体に持ち帰り、確実に報告をしていただきたい。

## (6) 閉会

### <長岡会長>

本日は、長時間にわたり活発な意見交換を行い、お疲れ様であった。議長提案をそれぞれ持ち帰ってよく検討していただき、次回の分科会に各団体の総意を持ち寄っていただきたい。